

## マーケットの動き（2022年7月4日～7月8日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利は小幅に上昇しました（債券価格は下落）。週初は米国ISM製造業景況感指数が市場予想を下回り、景気後退懸念の高まりから金利は低下してスタートしました。週末にかけては、安倍元首相の銃撃報道を受け日銀の金融緩和継続に対する不透明感から国内債券へ売り圧力が高まり、金利は小幅に上昇して週を終えました。

クレジット市場は、投資家のリスク回避的姿勢が継続し、新発債の発行も限定的でした。

## 投資環境見通し（2022年7月）

## 国内長期金利はレンジ内での動き

国内長期金利は、海外の長期金利や金融政策の動向に加えて、将来の日銀の金融政策変更を巡る観測から、中期あるいは10年超の年限で変動率が高まるとみえています。しかし、日銀は連続指値オペの対象銘柄を拡大し、現行の緩和的な金融政策を継続する姿勢を強く示しており、国内長期金利は日銀が変動許容幅の上限とする0.25%を中心としたレンジ内での動きを予想しています。

|                         | 7月8日   | 変動幅（騰落率） |        |        |        |
|-------------------------|--------|----------|--------|--------|--------|
|                         |        | 前週比      | 1カ月前比  | 6カ月前比  | 1年前比   |
| 10年国債利回り（日本、%）<br>（変動幅） | 0.24   | 0.01     | ▲0.00  | 0.12   | 0.21   |
| NOMURA-BPI総合<br>（騰落率）   | 376.01 | ▲0.17%   | ▲0.78% | ▲2.49% | ▲3.12% |

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

[https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload\\_pdf/202207\\_outlook.pdf](https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202207_outlook.pdf)

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

## 日本国債利回りの推移



## NOMURA-BPI総合指数の推移



※2021年6月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成